

交通事故で多数負傷

初動から処置確認

山科の
病院で訓練

交通事故で多数の負傷者が
確認した。

訓練は、同病院が非常時の対応と関係機関との連携を確認する目的で毎年行っている。今回は山科駅前で自動車が暴走し多数の歩行者をはねた」との設定で実施した。

訓練は、同病院が非常時の対応と関係機関との連携を確認する目的で毎年行っている。今回は山科駅前で自動車が暴走し多数の歩行者をはねた」との設定で実施した。

同病院駐車場に事故現場が再現され、救急隊員らは「負傷者」のけがの具合を確認し、治療の優先度を判定する「トリアージ」を行った。救命救急センターに重篤な負傷者から次々と搬送されると、医師らは隊員から状況報告を受け、急ぎ治療に当たっていた。

(長谷川真一)



訓練で、けが人の状況を医師に説明する救急隊員

(京都市山科区・洛和会音羽病院)